

会 議 録

会議の名称	令和4年度第3回本庄市水道事業審議会
開催日時	令和4年9月29日(木) 午後1時58分から 午後3時3分まで
開催場所	本庄市水道庁舎 2階大会議室
出席者	(委員) 小林 猛委員、山田 康博委員、竹内 肇委員、 永尾 一郎委員、高橋 博志委員、柴崎 厚委員、 池田 芳子委員、北野 守康委員、小磯 雄一郎委員、 下岡 忠敬委員 (事務局) 佐藤上下水道部長、平賀水道課長、高山課長補佐、 渡辺課長補佐、山下課長補佐、武藤主査、木村主任
欠席者	富田 雅寿委員、宮部 孝夫委員
議題 (次第)	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議題 (報告事項) 第1号 経営状況の推移について 第2号 水道料金の基本料金の免除について 第3号 水道利用者アンケートの実施について 4. その他 5. 閉会
配付資料	(事前配布資料) 令和4年度第3回本庄市水道事業審議会次第 資料1 経営状況の推移について 用語集 (当日配布資料) 資料2 水道料金の基本料金の免除について 資料3 水道利用者アンケートの実施について
その他特記事項	審議会の協議により、発言者氏名は記載しないこととする。
主管課	上下水道部水道課

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
事務局（課長）	<p>皆様、こんにちは。本日は、公私共に大変お忙しい中、令和4年度第3回本庄市水道事業審議会に御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日、進行を務めさせていただきます、水道課長の平賀と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議時間でございますが全体で1時間30分程度を予定させていただいておりますので、あらかじめ御了承をお願いいたします。</p> <p>本日の配布資料としましては、「【資料1】経営状況の推移について」、「【資料2】水道料金の基本料金の免除について」、「【資料3】水道利用者アンケートについて」の3種類の資料を机の上に配布させていただきました。</p>
	(配布資料の確認)
事務局（課長）	<p>前回の審議会の運営につきまして、小林会長より御指摘をいただいておりますので、「会議の公開」及び「会議録の調製」の2点につきまして改めて御説明をさせていただきます。</p> <p>前回につきましては、児玉商工会様からの推薦者が変更となり、宮部委員に初めて出席していただいたのにも拘わらず、事務局の配慮が足りず説明が不足してしまい、お詫びを申し上げます。</p> <p>令和3年度第2回審議会において、協議事項第1号「水道事業審議会の運営方法」を事務局案として御提案し、「異議なし」とのことで決定しておりましたが、改めて1点目としまして、会議は「公開」とし、「非公開」とする場合は、あらかじめ会長が会議に諮るものとさせていただきます。2点目としましては、「会議録の調製」は委員の皆様から活発な御意見をいただくため、「発言者名を無記名」とすることを確認させていただくものです。</p> <p>以上の2点につきまして、今後もこのとおりに運営させていただきたいと存じます。ただし、必要とあればその都度委員の皆様にお諮りいたしますので、御了承願います。</p> <p>併せまして、本日の出席者が会議に必要な定数に足りているかを御報告させていただきます。</p> <p>本庄市水道事業審議会条例では、「審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定しております。</p> <p>本日、御出席いただいております委員さんは全12名中、10名でございます。会議成立に必要な過半数に足りておりますことを御報告させていただきます。</p>

	<p>それでは、これより次第に基づき進行させていただきます。</p> <p>次第の2番、会長挨拶でございますが、小林会長より、御挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは改めまして、皆様こんにちは。審議会の会議の開催場所が度々変わって大変だと思いますが、本日はよろしくお願いいたします。2名の委員さんが欠席ということで、少し残念なところもありますが、出席されている委員の皆様の遠慮のない御意見を頂戴しながら、会議を進めさせていただきますと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局（課長）	<p>ありがとうございました。これより議事に入らせていただきます。</p> <p>本庄市水道事業審議会第6条第2項の規定により、会長が議長となるとされていることから、以後の議事進行は小林会長にお願いしたいと存じます。なお、議題に関しまして質疑のある方は、挙手の上、議長の許可を受け発言をいただきたいと存じます。それでは、小林会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>これより議事に入ります。委員の皆様には、会議のスムーズな運営に御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>事務局に確認をします。本日の会議の傍聴希望者はいらっしゃいますか。</p>
事務局	<p>本日の傍聴希望者はいらっしゃいません。</p>
会長	<p>初めに、報告事項の第1号「経営状況の推移について」、資料1に基づき、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料1に基づき説明）</p>
会長	<p>ただ今の事務局の説明につきまして、御質疑等ありましたら、お受けいたします。挙手をもってお願いいたします。</p>
委員	<p>一点質問をさせていただきます。浄水場ですとか施設の建設費が削減されているという御説明がありました。これを削減して、事業の利益を確保しているというように見えてしまうのですが、何か削減しなければならない理由、若しくはそこに何かの根拠がございましたら、御教授いただきたいと思います。</p>
事務局（課長）	<p>特に根拠というものはございませんが、これまでどちらかと言いますと、経営の安定化という方向で事業を推進してまいりましたが、今後につきましては、企業債の借入れと内部留保資金を活用して建設改良工事の事業量を増やしていくという考え方もございますので、皆様の御意見をいただいて、ぜひ参考にさせていただきたいと考えているところです。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>他に何か聞いてみたい方いらっしゃいますか。</p>
委員	<p>16ページの管路経年化率は、令和元年度に急激に上がっていますが、</p>

	これは単純に40年ということから言って、ちょうど40年前にこれを境に、設備が多く作られたといえますか、この理由について御説明をお願いいたします。
事務局	令和元年度を境に大幅に上昇していますが、この理由につきましては、40年程前の高度成長期の人口の増加や、区画整理などに合わせて、管路の埋設をしていることが理由であると考えております。
会長	他に質問がある方はいらっしゃいますか。 御質問がないようですので、こちらから指名をさせていただきます。専門的な知見をお持ちのA委員に御意見を頂戴したいのですが、よろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。
委員	御指名ですので、意見というか、感想を述べさせていただきます。 今回、あらかじめこの経営状況の推移という資料をいただきまして、読んでみました。私の分野としては、3ページの損益計算書、4ページ、5ページの貸借対照表となりますが、ここの部分は説明では省略されていたので、それを見ながらの感想です。 損益計算書を見ますと、総収益に対して、総費用があり、利益が発生しております。各年度、平成27年度から令和2年度まで利益が発生している状況ということなので、これは書類だけを見れば申し分ない状況であると思います。ただ、先ほど御説明があったとおり、結局、要は足が出ないようにしているというだけですので、当然こういう数字になるだろうということだと思われまます。 それから、4ページ、5ページの貸借対照表、4ページの資産の部、5ページは負債資本の部ということで、これも当然、事業の性格上、資産におきましては、固定資産が中心で、金額的にも、取扱いの上でも、固定資産が先に配列されておりますので、その次に流動資産があり、この事業の特性を表した財務諸表ということで、貸借対照表につきましても、負債は当然、企業債から何からありますが、自己資本、資本の部に十分な金額があり、これを見る限りにおいても、健全な状態であるということが見て取れます。 当然、健全でない困るわけで、この財務諸表につきましては、その程度の見方で、問題はないものと思いますが、経営状況以下のことになってきますと、これが非常に気になるところでございます。例えば、8ページのキャッシュ・フローを見る限り、現金預金が7億円から14億円へと倍近くに増えており、ただ全体的な資産の状況からすれば、資産がおよそ138億円ある中での14億円という数字なので、金額として増えてきていますが、フローとしてはどうなのかなという考えはありながらも、先日発生した静岡の水害などを見ますと、こんなことが起こったら大変だなとい

	<p>う思いが強くなりますので、こうしたことが無いことを願ってはおりませんが、何かあったときにはすぐ対応していただかないと、5日も6日も水道が出ないのでは、飲み水はおろかトイレの水も流せないという状況は、明日は我が身であるなどというように感じているところです。</p> <p>昨今、雹が降ったり、大変な水害があったり、今まで本庄市の周辺はあまりそういうことがない地域だと思っておりましたが、そんなこともないなどという思いが強くなりますので、十分に備えていただいて、何かあったときに対応していただければと思います。</p> <p>話は逸れますが、先日、犬の散歩をしていて、家の近くの工場の付近のアスファルトが濡れていて、なんだろうと思って、辺りを見てみたら、水たまりができていて、アスファルトの継ぎ目から水が流れていました。これは漏水だと思って、早速、市役所に電話をしまして、午前中にはもう対応していただいて綺麗になったのですが、このようなことが起こるのだと思いました。このようなことが市内各地で当たり前のようになるということは非常に心配な状況で、管路の更新、これにつきましても、耐用年数40年、一周するためには年2.5%の更新が必要となると、計算は簡単ですよ。ところが、それに対して、達成率は何分の一という状況なので、とはいえ法定耐用年数が40年ということは、40年経ったら必ず壊れるかと言えば、必ずしもそうではないわけです。その辺も見ながら、ハンドリングも大変難しいことだと思いますが、法定というのは、あくまで国が決めたことですから、それには指標がないとできないことですから、難しいことではあるけれども、施設の状況の調査等を慎重にやっていただきながら、適切な対応をしていただければと思います。</p> <p>税理士ということで、数字の現状よりも、やはりこの先どのようにしていかなければいけないのかということではないかと思っています。</p> <p>少し纏まりませんが、ざっとではあります、そのような感想を持ちました。また何かあればお話をしますが、とりあえず以上でございます。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。また、御意見を聞かせていただけたところがありましたらよろしくお願いたします。</p> <p>続きまして、水道事業に関する多様な識見をお持ちのB委員に御意見を頂戴したいのですが、よろしいでしょうか。よろしくお願いたします。</p>
委員	<p>会長から御指名をいただきましたので、御質問をさせていただきます。</p> <p>ただいまのA先生の御意見、非常に示唆に富んでいるところだと思って、私も同じような感想を持ちました。</p> <p>同じようなお話になるかもしれませんが、質問といいますか、説明の中でも触れられていましたが、14ページで御説明をいただいた建設改良費の推移とビジョンを拝見して、ビジョンに掲げられている財政収支の試算</p>

	<p>というところと見比べても、丁度平成28年度から以降の数字が載っていますが、段々減少して行って、令和2年度においては、この想定値の半分以下になっているわけです。やはり、経営上のお考えもあつてのことだろうと思いますが、どうして建設改良費を計上できなかったのかというところは、明確に検証といえますか、総括しておく必要があるのだと思うのですが、その辺をどうお考えなのかというのが一点です。</p> <p>同じように、施設整備の話をしていただきますと、ビジョンでは、例えば基幹管路であれば、口径400ミリメートル以上は毎年0.4キロメートルずつ更新するとか、計画値がきちんと載っているわけです。にもかかわらず、管路整備がされてこなかったということは、やはり苦渋の選択という理解もあると思うのですが、その辺についてどういうハンドリングがされていたのかというところがもう一つございます。</p> <p>これは感想になりますが、先程からお話が出ておりましたが、例えば管路にせよ、施設にせよ、法定耐用年数というものがあつて、それに従って減価償却をしていきますが、やはり全国的にそうですが、高度経済成長期に水道施設も給水区域が拡大すると同時に集中して整備をしています。ということは、ほぼほぼ40年経ってきて、まさにこれからの時期が、その更新の時期を迎えていくというところに、全国的に当たっているということは事実でございます。一斉に管路が不具合を来すということはないとは思いますが、やはり、水道管にしろ、設備にしろ、弱いところから漏水が発生するということになりますので、やはり危ないところから、予防保全として更新をするという考え方を取入れていかないといけないと思いますし、それを踏まえて、ビジョンの中で謳われていますので、このビジョンの施策を実現するための方向も考えていただけないかなというところでございます。</p> <p>雑駁ではございますが、質問2点と、感想ということで発言をさせていただきました。以上でございます。</p>
会長	はい。ありがとうございました。
事務局	<p>A委員、B委員、御意見と御質問ありがとうございました。</p> <p>まず、A委員の御意見に関しましては、損益計算書をご覧くださいと、損益計算書だけを一見すると手前味噌になりますが、申し分ない状況にあると思います。</p> <p>その一方で、固定資産の状況をご覧くださいと、4ページの貸借対照表の資産の部、有形固定資産の一番右側でございます増減率、こちらはマイナス5.8%ということで、更新が償却に間に合っていない状況が確認できると思います。また、先ほどお話がありましたとおり、建設改良費につきましては、経営の健全化を図ることを優先的に行ってきたことによ</p>

	<p>りまして、必要ではあるとは思いますが、そこを必要最低限に抑え込んできた結果、こうした状況になっているものと理解はしております。</p> <p>続いて、B委員の御質問の1点目でございますが、建設改良費が減少してきたということにつきまして、14ページを御覧いただきたいのですが、平成28年度が6億9千万円、令和2年度には2億7千万円ということになっております。この令和2年度の2億7千万円という金額につきましては、この年度に予定をしておりました工事を、翌年度に繰り越したこともございまして、ここまで低い数字になっているものでございます。</p> <p>今現在の状況でございますが、給水収益が税抜きで13億を下回る状況にある中で企業債の償還額が、およそ3億9千万円近い額を返済している状況でございます。こういったことも、建設改良費を低く抑えなければならぬ要因の一つでございますので、今後は、この償還の額が償還とともに低くなっていくことから、こちらをその建設改良費の方に振り替えていくということを考えております。</p> <p>2点目といたしまして、建設改良費の確保ということでございますが、先ほど申し上げましたとおり企業債の関係もでございます。今現在、借入利率が4%を超えるものも返済している状況でして、現在は15年償還で借入利率が0.3%といった低い利率で企業債を借り入れられている状況でございますので、企業債を有効に活用しながら、建設改良工事を行っていきたいと考えてございます。少し纏まりのない回答となってしまい申し訳ありませんが、事務局からは以上でございます。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。御質問に対しまして、回答の漏れがございましたので、御質問に対する回答をさせていただきます。B委員の御質問にお答えいたします。</p> <p>口径400ミリメートル以上の管路の更新についてビジョンに掲げている0.4キロメートルよりも少ないということでございますが、ビジョンには具体的に基幹管路の更新延長を0.4キロメートルと明記しており、この設定した数値には達していない状況がございまして、管路の更新に係る資金を確保して、今後は適切な管路の更新を実施してまいりたいと考えております。説明は以上です。</p>
会長	<p>続きまして、報告事項の第2号「水道料金の基本料金の免除について」資料2に基づき、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料2に基づき説明)</p>
会長	<p>ただ今の事務局の説明につきまして、御質疑等ありましたら、お受けいたします。挙手をもってお願いいたします。</p>
	<p>(御意見・御質疑なし)</p>
会長	<p>御質疑等がないようですので、続きまして、報告事項の第3号「水道利</p>

	<p>用者アンケートの実施について」資料3に基づき、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料3に基づき説明)</p>
会長	<p>ただ今の事務局の説明につきまして、御質疑等ありましたら、お受けいたします。挙手をもってお願いいたします。何かございませんか。</p>
	<p>(御意見・御質疑なし)</p>
会長	<p>御質疑等がないようですので、私から一点だけよろしいですか。</p> <p>アンケートの件ではないのですが、本庄市は他市町よりも、非常に水道料金が安いということは、市民にとって大変ありがたいことだと思いますが、今後は人口が減少することも予想ができています。人口が減少しても企業が増えれば、収支の見通しが立つかも分かりませんが、給水人口等も減少すると、将来的に売上げが減るのではないかと思います。</p> <p>現金預金がおよそ14億7千万円あるという説明で、このグラフだけ見ると望ましいと思ったのですが、給水人口が同等規模の県内の水道事業体の平均値がおよそ19億円だとすると、それを上回っているような経営をなされているのであれば、先ほどA委員からお話がありましたとおり、先日の静岡県のような状況が発生しなければよいのですが、今後において、関東直下型の地震等、大規模な災害が発生した場合、対応しきれないのではないかと思います。水道事業が独立採算で運営されているということを考えると、今後何らかの方策を考えていく必要があるのではないかと。これは足らなければ、一般会計から補ってもらえばいいというようなことではなく、独立採算ということを基本に、料金設定を考えながら、預金も考えて、何かあった場合には対応ができて、余裕の持てるような、尚且つ、欲を言えば市民の負担はなるべく抑えるという、少し我儘な質問になりますが、その辺において事務局はどのように考えていますでしょうか。事務局の考えを聞かせていただければと思います。</p>
事務局	<p>それでは、事務局の考えを述べさせていただきたいと思います。</p> <p>ただ今、会長、また各委員からいただいた御意見のとおりでございます。経営状況を見ていただくと、経営の面では非常に優等生ですが、投資の部分に関しましては、不足している点がございます。しっかりとした対応ができていないことが御確認いただけたと思います。</p> <p>ただ、我々としみしても、この状況をそのまま放置しておくわけにもいかなないと考えておりました。ましてや近年の台風などの災害や地震等にも備えていかななくてはならないと考えています。</p> <p>先ほども申し上げましたが、昨年度から今年度にかけて策定しているアセットマネジメント計画によりまして、今後40年程度の中長期の施設の更新の見通しが出ますので、それを基にして今年度の末から基本計画の見</p>

	<p>直しを進めたいと考えております。</p> <p>皆様には基本計画の見直しを御報告させていただきながら、御審議を賜りたいと考えておりますが、その計画の他にもいろいろ経営に関するものがございまして御審議をいただきながら、水道事業は先ほど会長が仰ったように、独立採算で行っていかなくてはならない企業会計でございますので、これを何とか市民の皆様にご迷惑をかけないように行っていきたくと考えております。皆様に御協力をいただきながら、我々も適正な水道料金としていきたいと考えている訳ですが、ただ、いずれにいたしましても、投資が間に合っていないという状況がございまして、それを踏まえまして、引き続き皆様に御審議を賜りたいと考えておりますので、よろしく御願いたします。</p>
会長	<p>他に御質疑はございませんか。御質疑がないようですので、議題について終了いたします。以上で、本日の議題は全て終了いたしました。</p> <p>議事進行への御協力、ありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局へ戻します。</p>
事務局（課長）	<p>小林会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の4番、「その他」でございまして、事務局から次回の審議会の開催予定について御説明させていただきます。</p> <p>次回の審議会は、こちらの水道庁舎の大会議室におきまして、令和3年度水道事業会計決算などについて御説明させていただき予定でございます。開催時期でございますが、少し間が空きますが、年を明けまして令和5年2月下旬を予定しております。</p> <p>事務局からの連絡事項は、以上となりますが、「その他」につきまして、皆様から何かございますか。</p>
事務局（課長）	<p>ないようでございますので、次第の5番、閉会に移らせていただきます。</p> <p>閉会にあたり、副会長の北野様より御挨拶をお願いできればと存じます。よろしく御願いたします。</p>
副会長	<p>副会長を仰せつかっております日本水道協会の北野でございます。御指名をいただきましたので、恐縮ではございますが御挨拶申し上げます。</p> <p>本日は事務局より、本庄市の水道事業の経営状況について、詳しい説明があったところでございます。</p> <p>現状では過大な負債等はなく、収支としては比較的安定しているように見えるものの、一方で減価償却率が高く、かつ上昇傾向にあるということも分かりました。このことは、今後、施設の更新に必要な建設改良事業のための投資は、継続して適切に行う必要があることを示しているものと思われまます。これらにつきましては、会長をはじめ、委員の皆様から御意見があったとおりだと私も感じているところでございます。</p>

	<p>以上、本日の様々な意見交換を通しまして、皆様には、本庄市の水道事業に対する現状の一端について、御理解を深めていただけたものと拝察いたします。会長はじめ出席者の皆様におかれましては、長時間に渡り、活発な御議論いただきありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、全ての議事を滞りなく終了することができました。円滑な議事運営に御協力いただきましたことに、改めて御礼を申し上げます。そして今後とも、本庄市の水道事業が着実に前進することを祈念いたしまして、簡単ではございますが、本日の水道事業審議会の閉会の御挨拶とさせていただきます。</p> <p>皆様お疲れ様でした。</p>
--	--

会 長 小林 猛
